

アメリカ National Crane Operator Certification Program 案内書（仮訳）

CCO 全米認定プログラム

クレーン運転者認定のための全米委員会（The National Commission for the Certification of Crane Operators=CCO）が開発、実施するクレーン運転者認定全米プログラムへようこそ。CCO は、運転者の知識と技術を独自かつ詳細に評価することで、つり上げ装置の安全性を高め、職場のリスクを減らし、業績の向上をはかり、研修を促進し、クレーン運転者の専門技術に対する正当な評価の確立を目指しています。

CCO は、クレーンの安全操作に関する効果的な作業基準を策定し、一般および建設産業のあらゆる部門に貢献することを目的として、1995年1月に非営利法人として設立されました。クレーンを使用するあらゆる産業部門の代表者が集まり、10年近くの作業を重ねた成果の結実としてCCOが設立されました。CCOプログラムは、基本的には業界が業界のために策定したものであり、一貫して業界からの支持を得ています。

CCOの理事会とその委員会には、クレーンを使用する産業界の多様性が常に反映されています。委員会は、請負業者、労働組合、レンタル会社、クレーン所有者、政府の規制機関（OSHA、米海軍）、鉄骨組み立て業者、製造業者、装置販売業者、建設会社、研修コンサルタント、保険会社などの代表者で構成されています。

プログラムの開発には、これら専門家によるクレーン関係の幅広い知識に加え、国内でもっとも信頼されている2つの認証団体、専門職試験サービス（Professional Examination Service=PES）とエクスペリアー・アセスメントLLC（Experior Assessments LLC）の心理学の専門知識も取り入れました。PESとエクスペリアー・アセスメントLLCは、CCOプログラムの開発に重要な役割を果たし、筆記および実技試験の実施とさらなる開発への支援を続けています。

これらクレーン関係の経験と知識の集積に対して、さらに労働安全衛生庁（OSHA）、及びB30クレーン基準を管理するANSI/ASME委員会の助力が補完されました。その結果、クレーン運転者の熟練度を評価する、堅実で妥当かつ効果的な試験が作成されました。

1999年2月26日、CCOクレーン運転者全米認定プログラムは、OSHAによってクレーン運転者認定に関するOSHA要件を満たしているとの承認を得ました。OSHAとCCOとの正式な協定は、この分野の民間業界団体と政府機関が締結した協定としては唯一のもので、CCO認定プログラムを採用した事業者にとって大きな力になっています。

CCO 認定についての基本的事項

クレーン運転者認定のための全米委員会（CCO）は、クレーン運転者認定のための全米的プログラムを策定・管理するために、1995年1月に設立された独立組織の非営利団体です。

CCOの全米規模の認定プログラムの目的は、損失リスクの減少、事故の減少、より一貫性のある研修、運転者の就業機会の拡大などです。

CCOは、建設、公益、エネルギー、鉄骨組み立て、クレーン・レンタル、石油化学、紙・パルプなど、クレーンを使用する幅広い多様な業界から支持されています。

CCO は、次の3つの分野を中心に活動しています。(1)クレーン運転者の知識と熟練度の認定、(2)それらの知識と熟練度を評価するための試験の開発と実施、(3)認定基準を満たしたクレーン運転者への認定証の発行。

CCO 認定は、業界と一般国民の双方に対して、クレーン運転者の技術と知識を保証するものです。

CCO プログラムの特徴は、次の点にあります。

- 全米規模であること。
- 民間部門が運営していること。
- 労使関係に関する方針とは別個のものであること。
- 各種のクレーンに対応していること。
- 認定は5年おきに更新が必要である方式になっていること。
- 試験を医学、筆記、実技の3部門で行うこと。
- 全米的に認められた専門職証明機関 (NCCA)から認定されていること。
- 連邦政府の OSHA の正式な承認を得ていること。

筆記試験は、要請に応じて全米各地で実施します。試験希望は4週間前に通知する必要があります。受験希望者は、試験日の2週間前までに完全な申し込み書を提出しなければなりません。

筆記、医学、実技試験の要件を満たし、クレーンの安全な操作についての基本的知識および技術を証明した運転者には、認定証明書が交付されます。

筆記試験は、基本試験 (Core Exam) と4つの専門試験 (Speciality Exam) で構成されます。専門試験は、「ラチスブーム・トラック・クレーン」「ラチスブーム・クローラー・クレーン」「伸縮ブーム・クレーン (17.5 トン以下および17.5 トン以上)」です。

筆記試験の費用は150ドルで、基本試験と専門試験1件分が含まれます。専門試験を1件追加するごとに5ドルが必要になります。

CCO は、試験開始から3年で、37州250箇所の試験会場において7,500名以上の運転者の試験を行いました。これは、知識をもち、研修を受け、能力を認定されたクレーン運転者を全米に確保するという目的に向けての大きな前進といえます。

CCO 試験：妥当性と信頼性

CCO 試験が、クレーン運転者の知識及び技能について、心理学的な基準により信頼のおける、妥当かつ効果的な評価法としての役割を果たせるよう、CCO は、そのサブジェクト・マター・エキスパートの専門知識を生かして、国内一流の専門資格団体である、専門職試験サービス (Professional Examination Service=PES) 及びエキスペリアー・アセスメンツ LLC の2団体との協力関係を結びました。

PES とエキスペリアー・アセスメンツ LLC は、CCO 試験の開発に当たって極めて重要な役割を果たしており、この国内認定試験に使用される筆記及び実技試験の運営とさらなる開発について、CCO を継続して支援しています。

OSHA 及び ANSI/ASME の各委員会からの情報提供で補完される、クレーンに関する知識と心理学的な基準を用いた専門知識の組み合わせは、この業界では前例のないものです。

専門職試験サービス (PES) は、免許及び認定試験の提供を専門とする非営利団体です。その使命は、評価、教育、科学、及び資格認定方針の各分野でサービスを提供することにより、公共の利益を促進することです。

PES は、州及び地方の行政機関向けに健康診断を実施する米国公衆衛生協会 (APHA) の試験部門として 1941 年に設立されました。また PES は、開業医に対する免許・認定業務を行う保健医療専門職のニーズにも応えるようになりました。時間の経過とともに、その顧客基盤は拡大し、保健分野外の職業にまで拡大されました。PES は、85 の専門職協会、全米の 50 州に設置されている 300 以上もの各種州免許委員会と業務提携関係にあります。PES は、90 人の従業員からなる常勤スタッフを抱えています。PES は、国内のどの試験業者よりも多くの検定試験を実施しています。

試験開発の理念

PES の試験開発の方法論は、全面的に教育・心理検査基準を満たすものであり、すべての EEOC ガイドラインに一致しています。その試験作成プロセスは、顧客による試験の品質を高め、外部からの検証にも耐えるものとし、内容の妥当性を確保するのに有益な手順を重視しています。

PES は、内容の妥当性を評価する尺度及び厳密な項目検討の手順を開発しました。このような尺度により、各項目が試験仕様を逸脱せず、適切な教育レベルにあり、職業上の実践に重要であり、かつ公的な保護機能を果たすことが確実となります。項目検討の尺度は、それぞれのプログラムに適するよう調整されており、試験内容の各専門家が項目の完全な審査を実施する上で役立ちます。PES は、単なる統計情報よりも、内容の妥当性を示すデータが法的防御のより強力な形となるものと判断しています。

このような手順の全体としての成果が、PES の法的防御に関する完璧な記録です。PES は、資格認定を行う顧客と 50 年に渡って仕事をしていますが、その試験の妥当性について起こされた訴訟は、いずれも失敗に終わっています。

40 年に渡る経験を持つエクスペリアー・アセスメンツ LLC は、1 年当たり 20 万人以上の志願者に対する検定試験を成功裡の内に提供してきました。エクスペリアー・アセスメンツ LLC は、建設、美容、抵当仲買人、カイロプラクティック医療、救急医療サービス、医薬品製造所作業、不動産、リクリエーション療法、検眼等を含む、1,000 種以上の全国的な職業免許及び認定試験の開発及び運営にあたっています。建設業市場の 85% 以上の試験サービスを提供しているエクスペリアー・アセスメンツ LLC は、建設関連試験サービスの国内のリーダーです。受験した志願者数でいえば、エクスペリアー・アセスメンツ LLC は、国内第 2 の不動産試験サービス提供者となっています。

エクスペリアー・アセスメンツ LLC は、鉛の加工業から建設、そして美容から不動産までの幅広い職業分野に対して試験開発及び運営を行ってきた長い歴史を持ちます。エクスペリアー・アセスメンツ LLC は、州及び地方自治体の免許・認定試験開発及び管理における国内のリーダーです。同社は、ブロック・アンド・アソシエーツ社の建設業における 40 年の歴史と、ナショナル・アセスメント・インスティテュート社が 22 年間にわたり培ってきた主要課題に関する知識を活用することができます。現在、シルヴィアン・ラーニング・システムズ社の子会社として、エクスペリアー・アセスメンツ LLC は、16 のエクスペリアー・アセスメンツ LLC 地方事務所で開業許可及び認定試験を行っており、全国で 300 を超えるシルヴィアン・テクノロジー・センターでコンピュータを使った試験を実施しています。

実技試験の概要

CCO 実技試験は、3つのカテゴリーで構成されます。

- ・ラチスブーム・クレーン
- ・吊り下げ荷重 17.5 トン以下の伸縮式クレーン(固定ケーブル)
- ・吊り下げ荷重 17.5 トン超の伸縮式クレーン(スイングケーブル)

連邦 OSHA 29 CFR 1926.550 及び ASME/ANSI B30.5(a)-1994 に適合。

段階的に試験対象技能レベルが上がる 4 種類の主作業を含む 7 区分により構成されます。試験の対象となる技能は、巻上げ、ジブ操作、旋回、手信号追従、及び組み合わせ (多機能) 操作です。荷重あり及び荷重なしでの操作が要求されます。

志願者は、筆記試験に合格し、健康基準を満たし、実技試験受験前の 5 年間に少なくとも 1,000 時間のクレーン関連の経験を持つものとします。クレーン関連の経験とは、「クレーン操作、検査、保守または研修」として定義されています。

採点システムは、試験官の主観または先入観を排除するように開発されています。実際の評価は、エクスペリアー・アセスメンツ LLC により、試験場外で行われます。操作ミスと時間ペナルティの組み合わせにより、減点が発生します。

試験及び採点システムは、パイロット・プログラムにより実証され、エクスペリアーが確認しています。

実技試験官は、3日間のワークショップ・プログラムを通じて、CCO により研修及び認定を受けています。試験官の資格認定は、3つの区分ごとに具体的に実施され、CCO の承認を受けた個人全員に取得の機会が与えられています。

実技試験は、要望に応じて、国内の主要地で実施されます。

試験場のレイアウトは、試験を確実に標準化するために、使用するクレーンの各機種ごとに適合するものとなっています。CCO は、各試験場の試験構成及びレイアウトに関して詳細な規定を提供します。

導入日：1999 年 1 月。段階的導入期間は、実技試験が CCO 認定に際して義務づけられる 1999 年 12 月 31 日に満了します。現在の免許保有者は、認定更新時に実技試験を受ける必要があります。

CCO の構成について

クレーン運転者認定のための全米委員会(CCO)は、組合系、非組合系を問わない、クレーンを使用するすべての業種が公平に代表権を持つことができる構成をとっています。この代表権の公平性は、理事会、委員及び委員会という組織構成上の 3 つの主要レベルのいずれにも反映されています。

取締役会

取締役会のメンバーの任期は 3 年です。役員は、毎年再選挙を受けます。取締役会は、方針を定め、戦略的目標を決定します。

委員

CCOは、方針についての勧告を行い、CCOに直属する4つの主要委員会の活動を監督する10の幅広い業界団体を代表する25名の委員を定めています。委員は、主要メンバーの代理を務める個人1名を指名する権利を持ちます。

委員会

CCOには5つの主要委員会があり、その一部は特定の事業に割り振られたタスクフォース及び作業グループとなっています。

筆記試験運営委員会：クレーン運転者認定筆記試験開発の監視及び参加、CCOの試験手順に対する改訂の提案、筆記試験運営部門に対する協力及び監視、項目作成者の監督、CCOの試験活動の監視及び監督、心理学的な基準を用いた信頼のおける試験に必要なデータ収集に対する責任を負います。

実技試験運営委員会：クレーン運転者認定実技試験開発の監視及び参加、CCOの試験手順に対する改訂の提案、実技試験運営部門に対する協力及び監視、CCOの試験活動の監視及び監督、心理学的な基準を用いた信頼のおける試験に必要なデータ収集に対する責任を負います。

認定委員会：最低限の認定・再認定要件の確立、適用過程の検討及び監視、証明書の発行、及び証明書の更新を含む、クレーン運転者に対する最低限の認定・再認定基準の開発及び運営に対する責任を負います。

検討委員会は、倫理基準、並びに懲戒措置の方針及び手続きのような活動基準の確立及び実施に対する責任を負います。

上訴委員会は、認定委員会及び検討委員会の決定に対する聞き取り調査に関する方針及び手続きを定め、このような聞き取り調査を行う責任を負います。

受験方法

クレーン運転者認定のための全米委員会(CCO)の試験は、クレーン運転者の知識及び専門技術を反映した、クレーン運転者を対象とする、適性・能力を基本とする試験です。CCOは、すべての業界におけるクレーンの現在及び未来の運転者の技能及び能力を評価するために、クレーンの安全な運転に必要な知識と熟練度の測定基準を定めることを目的として創設されました。

筆記試験は、1941年に創設された非営利試験企業であるプロフェッショナル・イグザミネーション・サービス(PES)との協力のもとで開発されました。筆記試験プログラムは、クレーン操作に関する基礎試験及び4種類のクレーン専門試験で構成されています。

CCO実技試験は、建設関連の評価について確かな経歴を持つ心理学的基準の専門家であるエクスペリアー・アセスメンツLLC(旧NAI/ブロック)との協力により開発されました。志願者が本文書に記載される筆記試験を受験・合格した場合、試験場のコーディネータに連絡の上、実技試験の日程を決める必要があります。エクスペリアー・アセスメンツも、CCO筆記試験の開発、運営及び採点に関し、CCOを支援しています。

実施されている CCO 筆記試験

基礎試験

すべての志願者は、本人が免許を希望する専門科目に関わらず、基礎試験を受験しなければ

ならない。

専門試験

ラチスブーム・クローラー・クレーン
ラチスブーム・トラック・クレーン
小型伸縮ブーム・クレーン(<17.5 トン)
大型伸縮ブーム・クレーン(>17.5 トン)

志願者は、少なくとも 1 科目の専門試験に申請を出さなければならない。

申込書の入手

志願者は、筆記試験受験申請書の請求または情報の入手を以下より行うことができる。

米国クレーン運転者認定委員会(CCO)

手順

CCO 筆記認定試験は、請求により、試験場の基準に合致する事業者の作業現場等で実施することができます。下記の受験料は、同時に 1 カ所の現場で最低 15 名の志願者が試験を受けることを想定して設定されています。

試験場となる現場については、試験日程を決めるに当たって、希望の試験日から少なくとも 4 週間前に CCO に対して通知しなければなりません。志願者の申請書は、試験予定日から少なくとも 2 週間前に、エクスペリアー・アセスメンツに対して、しかるべき書類とともに提出されなければなりません。受験資格のある志願者に対しては受験票が交付されます。

志願者が 15 名未満の試験場については、\$200 (志願者 10-14 名) または \$300 (志願者 1-9 名) の試験場ごとの割増料金により実施可能です。

より短いリードタイム及び採点報告で試験を実施することも可能です。この「迅速サービス」に関する詳細については、エクスペリアー・アセスメンツ (電話番号: 727/449-8525、内線: 4024) までご連絡ください。

御社の現場を公式試験場として申請する場合は、試験場申請書をダウンロードしてください。既に CCO 試験場として承認を受けており、試験日程の決定をご希望の場合は、試験実施請求書をダウンロードしてください。

申請料

筆記試験の申請料は以下の通りです。

基礎試験及び専門試験 1 科目 150.00 ドル
追加専門試験 1 科目当たり 5.00 ドル

再試験申請料

基礎試験及び専門試験 1 科目 150.00 ドル
専門試験 1 科目(基礎試験合格) 50.00 ドル

追加専門試験 1 科目当たり 5.00 ドル

その他の料金
遅延料 60.00 ドル

締切

すべての締切は必着の締切であり、完全かつ正確な申請書が指定の締切日までにエクスペリア・アセスメントに確実に届くようにする責任はもっぱら志願者/試験場コーディネータが負うこととなります。

申請締切日後、試験日より2営業日前に到着した申請書は、60.00ドルの遅滞料の対象となります。遅滞料が同封されていない場合、あるいは申請書類が試験日より2営業日以内に届いた場合、このような申請書は返却されます。

OSHAが「CCO認定は重要かつ積極的な影響を持つ」と発言

ヴァージニア州フェアファックス発 (2000年6月29日)

これまでになくクレーン運転者認定に対する関心が高まっており、また複数の州が免許要件の開発過程にある中、連邦OSHAは、継続してCCOプログラムに対する支援を再確認しています。

CCO認定を認めるというOSHAの決定の鍵となる要素は、その客観的で独立した評価過程である、とOSHAの建設理事会理事長であるラッセル・「ブルース」・スワンソンは述べています。米国資格試験認定委員会(NCCA)によるCCOの公認は、「CCOの試験の客観性、信頼性及び有効性を示すものであり、CCOが試験開発及び運営の最も厳密な専門基準を満足したことを確認するものです」とスワンソンは語っています。

「OSHAは、CCO認定運転者が29 CFR 1926.550 (b)(2)の研修要件を満たしたことの証拠文書としてCCOクレーン運転者認定を認知し、CCOと提携を結びました」とスワンソンは語っています。「CCO認定は、移動クレーン運転者の能力を証明する厳密な試験基準に基づいています。そしてこのことは、私たちのクレーン関連事故による死傷者数の減少という相互の目標に貢献するものです」とスワンソンは付け加えています。

「CCO自体は研修を提供していないが、業界内の企業が提供するクレーン運転者研修及び教育プログラムは、建設業界の有能なクレーン運転者を育成し、これを維持する上での基本的な要素であり、こうした研修受講運転者はCCO認定試験に合格することになります」とスワンソンは語っています。

「現在OSHAコンプライアンス担当者は、事業者に対してクレーン運転者がCCO認定資格を持っていないという理由だけで召喚状を発行しませんが、CCOの認定を受けたクレーン運転者が現場に参加するという前提があれば、実証された資格を持つ人物によってクレーンが操作されていることの証拠として受け入れられるようになるでしょう」とスワンソンは語っています。

「事業でCCO認定を受けたクレーン運転者を必要とする請負業者は、その企業の効果的な安全衛生プログラムへの取り組みを明らかにし、その事業が結果的に「重点検査」の対象となる資格の取得に貢献することになります」とスワンソンは付け加えています。

「クレーン運転者がその仕事を実行する資格があるかどうかを判断する貴重な手段を事業者を提供する上で、クレーンを使用する、あるいはその周囲で働くすべての人たちの利益になるような安全なクレーン運転に対し、CCO認定は重要かつ肯定的な影響を与えています」とスワンソンは述べています。

アメリカ ニューヨーク州職場安全及び損失防止規則 (抜粋)

Worker's Comp - Regulation Part 59

PART 59 WORKPLACE SAFETY AND LOSS PREVENTION PROGRAM
(Statutory Authority: Workers' Compensation Law Section 134)

Subpart 59-1

WORKPLACE SAFETY AND LOSS PREVENTION REGULATION
As Amended November 1997

(中略)

§ 59-1.12 Certification of Workplace Safety and Loss Prevention Consultants

- (a) Any individual performing a workplace safety and loss prevention consultation for a participating employer under this rule, other than those consultants employed by the department for this purpose, shall be certified by the department.
- (b) In order to be eligible for certification, individuals must possess the following qualifications:
 - (1) Certification as a Certified Safety Professional (CSP) granted by the Board of Certified Safety Professionals (BCSP); or
 - (2) Certification as a Certified Industrial Hygienist (CIH) granted by the American Board of Industrial Hygiene (ABIH); or
 - (3) Certification as a Certified Safety Executive (CSE), Certified Safety Manager (CSM), or Certified Safety Specialist (CSS) granted by the World Safety Organization; or
 - (4) New York State license as a professional engineer, with five years of documented professional safety and health experience within the last eight years prior to the filing of the application for certification; or
 - (5) A Bachelor of Science degree in industrial hygiene, safety, occupational safety and health, biology, chemistry, environmental health and science, physics, engineering, or a related field, with five years documented professional safety and health experience within the last eight years prior to the filing of the application for certification deemed acceptable by the Commissioner; or
 - (6) Eight and one half years of documented professional safety and health experience deemed acceptable to the Commissioner within the last ten years prior to the filing of the application for certification; or
 - (7) An insurance professional with qualifications as an Associate in Loss Control Management or an Associate in Risk Management plus five (5) years appropriate safety and loss prevention experience; or
 - (8) A department employee designated by the Commissioner and in one of the following Civil Service Titles:
Safety and Health Inspector, Senior Safety and Health Inspector, Associate Safety and Health Inspector, Supervising Safety and Health Inspector, Senior Industrial Hygienist, Associate Industrial Hygienist, Supervising Industrial Hygienist, Principle Industrial Hygienist, Senior Safety and Health Engineer, Associate Safety and Health Engineer or Principle Safety and Health Engineer. Designated department employees are automatically certified and shall not apply to the department for certification nor pay a certification fee.

(以下略)

オーストラリア 産業用機器の使用者及び運転者のための 全国労働安全衛生免許基準（抜粋）（仮訳）

“National Occupational Health and Safety Certification Standard for Users and Operators of Industrial Equipment” [NOHSC (国立労働衛生安全委員会) : 1006 第3版 (2001)]

1. 標題

1.1 ここでいう「全国基準」とは、「産業用機器の使用者及び運転者のための全国労働安全衛生免許基準」[NOHSC (国立労働衛生安全委員会) : 1006 (2001)]を指す。

2. 範囲

2.1 この全国基準は、全国共通の基準のもとに発行する産業用機器の使用者及び運転者に対する労働安全衛生関連の免許 (certificate) に適用され、国の免許制度となる。

2.2 ここでは、適性の基準、監督型及び公認訓練の要件、全国で一貫した登録及び評価の仕組みといった、すべてのクラスの免許に共通した問題を取り扱う。これらの一般的な要件は、能力育成を基礎とした訓練制度と調和のとれたものとし、それによって産業界が行う訓練制度との重複を回避するものとする。

2.3 この全国基準には、以下の産業用機械・装置を使った作業又は関連する小作業（タスク）、その使用及び操作に関する免許カテゴリー、免許クラス、及び労働安全衛生能力基準に関する別表が添付されている。

足場の組立て及びリギング
クレーン及びホイストの操作
圧力装置の操作

3. 目的及び原則

3.1 この全国基準の目的は、産業用機械・装置を使った作業、あるいはその関連するタスクについて、全国的に統一された能力に基づく安全衛生免許基準を実現することである。

3.2 全国的な安全衛生免許基準の実施は、すべての関係業界における機械・装置の安全な使用と運転のための基礎的な要件を整備し、関連する事故及び傷害の防止に役立つものである。

3.3 この全国基準に基づいて発行される証明書は、オーストラリアのすべての州及びテリトリー（準州）において認められるものとする。

3.4 この全国基準で定義される安全衛生能力とは、当該安全衛生諸規制に基づく責任の遂行、危険の確認及び評価、並びにそれらに対する適切な対応策の実施などを包括的に表すものである。また、安全衛生基準及び手続に則して、使用者及び運転者のタスクの準備と完了を含む。

3.5 この全国基準は、オーストラリアの全土に普及している安全衛生規制の注意義務規定に基づいた、雇用者と従業員の責任に依存する。特に、この基準は、作業中の従業員に対して安全衛生の方針と手続について適切な知識を与え、そのための訓練を受けさせるという雇用者の責任に依存するところが大きい。産業用機械・装置の使用者及び運転者の場合、この責任は、現実の作業場において機械・装置をこの全国基準に則して安全に使用し、運転するための手続に課される。

3.6 この文書が特定する安全衛生能力基準は、すべての産業及び企業における各種装置の安全な使用及び運転のために必要とされる、最低限の重要な能力である。これらの中心的な安全衛生能力基準は、特定の産業及び企業が抱える危険と状況をかんがみ、使用及び運転される産業機械・装置についての企業レベルでの安全衛生能力基準を開発する基礎を提供する。

3.7 産業用機械・装置の安全な使用及び運転に関する能力基準は、各産業及び企業が設定する能力基準の一部でしかないため、その免許クラスは「オーストラリア全国訓練機関 (Australian National Training Authority) の定めた「オーストラリア基準」の枠組みとの関連性はない*。

* National Training Board, 『National Competency Standards: Policy and Guidelines』(全国能力基準：方針及びガイドライン、National Training Board Ltd.、キャンベラ、1991年。

3.8 この全国基準は、報奨制度の改革も含めて、産業がその生産性と弾力性を高めようとする方針と調和する。

3.9 また、この全国基準は、雇用機会均等の原則とも合致する。

3.10 この全国基準における機械・装置の定義は、可能な限りオーストラリア国家規格と合致している。

3.11 この全国基準は、州及び準州による効率的な免許制度の運営を促進するべく設計されている。

4. 解釈*

* 特定の別表に適用される定義は、該当する別表で説明する。

4.1 この全国基準における以下の用語の意味は、特にそれに反することが示されていない限りは次のとおりとする。

認証 (accreditation) とは、州または準州の認証機関による、訓練コース又はプログラムに対する正式の認定及び確認をいう。

認証された訓練 (accredited training) とは、以下の条件を満たしたことを、州又は準州の職業教育・訓練認証機関が認めた訓練コース又はプログラムをいう。

- (a) コースの内容と水準が、受領した資格証明書 (credential) にふさわしいものであること。
- (b) コースとその提供方法が、コースが導入された目的にかなったものであること。
- (c) 全国的な能力基準がある場合は、カリキュラムと評価方式がそれに則していること。

申請者 (applicant) とは、免許を申請する人をいう。